

しかし、私たちは、私たちが愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、
圧倒的な勝利者となるのです。

(ローマ8:37)



大人気の1500m走！ 210名のチア・オリンピック、今年も躍動！（府中市民陸上競技場にて）

ハレルヤ！ あっという間にクリスマス・新年のシーズンとなりました。今年も皆さんと共に歩ませていただき、神様に大いに助けられ、あわれみをいただき、祝福された感謝な1年でした。ありがとうございました。

11月10日に開催された「チア・オリンピック」もぽかぽかで雲一つない紺碧の空の恵みの1日でした。210名の皆さんと楽しく神様を見上げて全力で走り、心身を鍛え合い、励まし合う時が持てました。

11月23日の伊勢崎の皆さんとの東京伝道も、これまたぽかぽかの伝道日和の中で13,000枚のトラクトを配ることができました。

12月3日には、フリースクール等国会議員連盟総会に招いていただき、1年後の「教育機会確保法」改正に向けて現場からの報告をさせていただきました。来年度のホームスクーリング開始に向けての問い合わせや相談等も日々、増えています。

不十分で足りないところが多かったとは思いますが、とはいえ、神様の素晴らしさをかみしめ、子どもたちの成長に励まされながら、一步一步、地道な歩みを進めさせていただく1年でした。

「魂の救い」「キリストの弟子の心を与える」「伝道・世界宣教」という強い目的を心に、主の恵みに感謝し、賛美しています。新年は主にある「圧倒的な勝利者」（ローマ8:37）となり、良きクリスマス、新年でありますように、皆様への祝福を心から祈っています。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

祝福と恵みの チア・オリンピック

8回目を迎えたチア・オリンピック、今年も多くの皆さんと共に、神様の祝福を確信し、喜び、励まされる大会が与えられました。

今回、初の11月開催ということで、東京中の競技場の予約が難しい中、神様の恵みで、府中市民陸上競技場が土曜日に与えられました。

前日は冷たい雨で肌寒い1日でした。当日も1週間前の天気予報は雨で、雷や台風でない限りは、雨天決行を呼び掛けつつ、祈り備えました。おかげさまで事前登録者の皆さんが多く、今年も210名を超え、当日は雲一つない紺碧の空。そして9月下旬のよなぽかぽか陽気で、自然と外で走りたくなるような陽気でした。

「この日を目指して、親子で1年越しでトレーニングしてきました」「参加者がとても多くて驚きました」「今年は家族みんなで来られてよかった」「初めてですが、よろしく願います」

そんな楽しい会話の中、下記のピリピ3章13～14節を読んで1日がスタートしました。「私は、自分はすでに捕らえたなどと考えてはいません。ただこの一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目指して一心に走っているのです」

午前の部は、0歳児から50代後半までが、25、50、100m走と走り幅跳び、そして1500m走に挑戦。「進行がスムーズでびっくりでした」とうれしい言葉もいただきました。毎年、いろいろと工夫を重ねていますが、今年の特徴としては、ボランティアの皆さんが多数与えられたことが大きかったです。お父さん、お母さん、OB・OG、中高生…と、皆さんが生き生きとリーダーシップを取ってくださったり、走り回ってくださり、とても助かりました。コンベンションや白馬も助けが必要ですので、ぜひ、ご応募ください。

富山からもチャーチ&ホームスクーラーOGの金子賛美さんが泊まり込みで駆けつけてくれ助



疾風のごとく 100 m !

かりました。金子さんは、姉妹4人らと共にホームスクーリング型チャーチスクール（お父さんが牧師で校長。教会員の女の子1人と5人で学習）で育ちました。山間部に近い場所にある教会の果樹園（約25種類の果樹）や野菜畑の責任を持ち、季節によっては毎週釣りに行って、ほぼ自給自足に近いご家族の食事の糧を得ています。また、独学で英検、スノーボード共に1級を取りつつ、チア・マガジンの文字起こしを手伝ってくださったりして活躍中です。コンベンション等にはなかなか参加できないでおられますが、チアのニューズレターは、毎号、家族みんなで輪読、熟読されているということで、6-7年前に、1度書いた祈りの課題等、詳細まで心に留めていてくださり、驚きました。神様と親の愛情と犠牲によるホームスクーリングのもと、特に大自然の中で育つとこんな風に素直にまっすぐに成長するのだなと、とてもうれしかったです。

神様にある家族のネットワーキング

「ネットワーキングタイム楽しみです」今回も、そのような声をたくさんいただきました。お互い知り合ったり、近況を知って互いに励まし合ったりすることが、チアの企画の目的の一つです。とはいえ、210名全員のアップデートは、時間的にも大変なので、昼食スタートと共に始まりま

す。1家族1分の制限時間内の報告、また初めてや久々の皆さんからのご挨拶等に、とても励まされました。

山口からご参加の藤山いずみさん「大阪コンベンションでホームスクーリングを決断しました。中四国九州方面でもチア・オリンピックやコンベンション等の開催があればなおうれしいです。この働きが大いに用いられるよう私もほかの人たちに勧めていきたいです」

栃木から参加された秋山洋子さんは、3年前にご主人の隆紀さんが心臓発作で突然、天国に召される、とても悲しい体験をされました。「主人は、娘をホームスクーリングするんだとよく話していて。きっと喜んでくれると思います」と去年のコンベンション会場で伝えてくださった秋山さん。

隆紀さんは、サマーキャンプもコンベンションも白馬もレギュラー参加で、その笑顔が私の心にも深く刻まれています。本当に残念でしたが、きっとオリンピックで活躍する母子を見て、天国で喜ばれているだろうなと思いました。「勝ち負け関係なく、みんながイエスさまにあって金メダルなんだと感じられた一日でした。5歳の娘もホームスクーラーの友人ができ、健全な競争、みんなで力を合わせての勝利が体験できて楽しかったようです。ホームスクーラーの子どもたちの実（素直さ、献身的な態度、マナーの良さ）を見ることができ、この方向性が間違いではなく、神様の願いだと確信することができました」とのことです。いつも秋山さんをサポートしておられる又川貴子さんも一緒に参加され、レースにも積極参加で楽しんでおられました。

長野からも大勢来てくださり、その中にお父さんの英基さんが長く闘病中の、小畑望君(19)、喜歩さん(14)もボランティアでかけつけてくれました。とてもうれしかったです。英基さんのこともぜひ、続けて祈っていただきたいと思います。

女子プロレスラーの世界チャンピオンだった里美和

さん、天野百合香 前校長らが率いるリバーサイド・インターナショナル・スクールも参加。絵画コンクールや読書感想文大会には常連参加で、子どもたちの名前は、審査員の私にはなじみがあり、それぞれよく知っています。それだけに、直接笑顔が見られてうれしかったです。去年は、里さんと天野前校長と2人で視察参加。「大歓迎モードがうれしい」と喜ばれ、今回は昨秋のチア・ジョイスイミングに続いての全校参加でした。「世界レベルのクリスチャンアスリートへの秘訣は？」と聞くと「やはり聖書の御言葉！です」とのこと、「聖句を蓄え、聖書に生きることですね」とのことです。

堀井祥子さんは、細菌性髄膜炎の頭部の手術を控えたホームスクーラーママの井澤満美子さんについて祈りを呼び掛けてくださいました。井澤満美子さんご本人と、ご主人の紋庸さんによると、11月21日に手術が行われ、順調な回復に向かっているそうです。満美子さんについても、引き続き、お祈りを願います。

一層の体と心のケアを教えられて

当日、個人的に学んだことを分かち合います。伝道や充実したホームスクーリングと仕事、天国を目指して、日頃から、健康診断、食事、運動、睡眠の鍛錬が必要ということです。



ティーン女子たちも走る！

オリンピックの今年の目標は、これまで同様、「けがをしない程度に、全力で全競技種目を駆け抜ける」ことでした。神様は、毎年、良きライバルを与えてくれます。昨年、秒コンマで競い合った衣笠健三さんは、今年は仕事の関係で、ご家族だけが参加でした。その代わりに浮上したのが佐藤尚樹さん（41）でした。私より15歳若い元野球選手で、チア・オリンピック目指して、トレーニングを積まれてきたそうです。100m走で負け、

1500mで勝つことができました。200mは、佐藤さんは1位で私は3位。400m走…神様に感謝しつつ、全力を尽くそうと思い、350m過ぎまではトップを快走しましたが、最後の30mは完全に酸欠状態になってしまい、急速にスピードが落ち、佐藤さんが逆転勝利でした。佐藤さんは「え、これ400だよ。こんなに（最初から）速くていいの?」と思われたほど、高速で走り続けたのですが、逃げ切りはならず、ラスト20mは自分の体ではないよ

うな状況になって、もがきながらのゴールでした。ゴール前にあきらめてしまい、それは来年への課題です。

でも後で、一昨年まで私が全敗していた志賀信泰さん（43）から、うれしいメールをいただきました。「短距離走で今年は稲葉さんに全敗を喫したので来年は負けないように準備したいです」（1500mは志賀さんが速かったです）。少しは目標になれてよかったな—と思いました。

5年前に、当時55歳だった堀井洋二さんがさっそうと200m走をするのを見て、自分も5年後、そうありたいと思い、祈りました。去年、その祈りは答えられましたが、今年も走り切ることができ、年下のお父さんたちへの刺激にもなれて、神様に感謝しました。

佐藤さんから「来年に向けて今朝も夜明けの暖かい布団から出たくない体にムチ打って4℃の中3kmを走りました」とメールをいただき、うれしかったです。

胃腸が食事を受け付けず
日常の鍛錬の必要に気づく

さらなる学びは、その後でした。その夜、カレー屋さんでカツカレーを食べたのですが、



激走・お父さんたちの200m走。筆者（56歳、写真右）ら、励む！



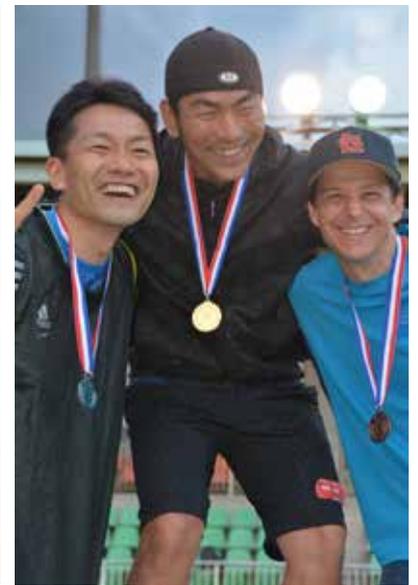
400m走は、残り25mで酸欠。佐藤尚樹さん（41歳、写真左）が逆転！

深夜、熱が出て、10回あまり嘔吐との激闘が待っていました。100キロ走、300キロ走といったウルトラマラソンや、グレートレース系の競技では、レース後、胃が食物を受け付けなくなる場合が多々あります。私の消化機能も止まったようでした。100、200、400、1500 m、ジャベリック、ソフトボール投げ、走り幅跳び等の種目に加え、当日の進行や「近況報告」、「表彰式」等を全力で行って力が尽き、完全燃焼でした。翌日以降もいろいろとあったので、だましだまし動きましたが、幸い2日後ぐらいに熱は下がり、嘔吐も終わりました。その後、1ヶ月あまり肉系は食べたくなく、今もちょっとずつです。

この体験の中で、日頃の鍛錬や食生活の改善等、心身のケアの重要性を改めて思いました。今年の2月、30年ぶりの健康診断を受けました。きっと健康優良児とほめられるだろうと思っていたら、たくさん再検査項目がありました。胆のうにポリープがあり、再検査をしたところ、ガンかもしれないし、ただのコレステロールかもしれないとのことで、経過観察となりました。高血圧の指摘もありました。11月の健診では上記に加え、慢性胃炎と胃潰瘍ほかで、胃がんになる疑いもありとのことで人生初めて胃カメラチェック&胃壁を採取される体験をして、結果待ちです。高血圧では、薬を飲むことにもなっていました。いずれ天国に向かう、限りある人生ですが、最大限、ホームスクーリングの強い目的を達成するためにも、家族への責任を果たしていくためにも、本当に日頃のケアが大事だなと思った次第です。そのような中で、チア・オリンピックが、自分自身にも子どもたちにも、目標と励ましの一つになってよかったな一と思い、神様に感謝しました。

神様からのメダル

今年は、メダルを一人1個にし、複数受賞者も最高位のメダル1つを代表して受け取り、神様に感謝しようと励ましました。ここ数年、メダル総数を450個にして、多い受賞者は一人6-7個をぶら下げて帰るダイナミックさもありました。今



メダルの喜び。神様、見上げて

回は、一つに集中して喜びと感謝をかみしめるトライアルを試してみました。アンケートを読む限り、好評でした。

入賞できなかった全参加者にも神様からの応援として金メダルを提供しましたが、それも会場全体が温かい応援の雰囲気と拍手となってとてもよかったです。いずれにせよ、神様からのメダルと励ましも感謝し、素敵な1日を過ごせました。

2回の伝道デーの恵み

9月24日(祝)と11月23日(祝)、伊勢崎のチャーチ&ホームスクーラーたちと一緒に、上野・浅草エリアで東京路傍伝道を行いました。チア・メンバーたち、私とジョセフ(10)も加えていただき、

ありがたかったです。2回とも、ジョセフは疲れ切りながらも、喜んで帰ってきました。

ある家では、7-8歳の2人の兄弟が、ポストに入れようとしているジョセフを見つけ、すぐに取りに来たそうです。その子どもたちは「ありがとう！がんばってね！」と言って、早速、マンガミッションを読んでくれたとのことでした。

また、食堂のおばちゃんにあげたら、「私、読むよ。うれしいよ」と言ってくれたと、楽しそうに話してくれました。マンション10数カ所に市川喜也君と一緒にいき、「全部入れられてうれしかった」とのことでした。

私は、「地蔵寺どこですか？」と、困っているおばあちゃんに聞かれました。ちょうどパンフを配りながらそのお寺を覚えていたので、愛情をもって接し、すべての人に伝える必要のある福音を自信と確信をもって伝えようと、連れて行きました。とても喜ばれ、「お仕事中、すみません」と言われたので、「大丈夫です」と伝え、最後に福音トラクトとティッシュを渡すと、「ありがとうございます」と本当にうれしそうに受け取ってくれました。

ジョセフと一緒に回っている時に「会社のビルだし、入れるのどうしようかな」と言ったら、ジョセフが「会社の人もマンションの人も地獄に行ったらいけないでしょう。会社の人も読んでくれるかもしれないから入れようよ」と言って、「それもそうだね」と入れることができました。

このような素晴らしい機会が与えられ、本当に感謝でした。

取材力

実を結んだその道のプロ・書籍から
謙虚&積極的に学ぶ

8月からジョセフは、チア・オフィスのある東村山市の野球チームに入りました。

ジョセフの野球への情熱は、去年夏にライオンズの試合を見せに連れていった頃から始まりました。その後、少しずつ親子で練習を始め、グローブ、バット、私の暴投で青あざを作るので防御用のキャッチャーマスクやプロテクター…等、購入していく中で、仲良くなったスポーツ店主のBさんの薦めで入部となりました。

それから4ヶ月、ジョセフに野球を教えながら、



東京路傍伝道の喜び。ジョセフ、OGの市川希望看護師と共に

正しい情報を積極的に学ぶこと、環境作りの大切さ、神様の祝福に信頼すること等、ホームスクーリング全般に通じる点を私自身が学ぶこととなりました。

ジョセフの訓練の様子を聞いたホームスクーラーのお母さんから質問が届きました。「ジョセフ君、野球の練習の良い機会が与えられてとてもいいと思います。また学習も一緒に頑張っているようですね。次男のCもテニスをもっと頑張りたいようで、良い練習の場があるといいのですが…祈り中です」

そこで私自身が最近、気づかされたことを分かち合いました。「C君に、良きコーチ、良き環境が与えられるといいですね。テニスの参考書を図書館から借りまくってC君が読まれることを強く勧めます。アマゾンとかのネットの本屋さんを調べると古本が1円から出ています。送料が400円ほどかかりますけど、新品同様の本も比較的安く手に入りますので、それもお勧めです。」

僕が高校の硬式野球部時代、当時、年間15勝をあげて最高勝率賞を取っていた広島カープのエースのDさんが僕たちの練習を見に来てくれたことがありました。『Dさん)こんなに過酷な練習しているチームは全国でもほとんどないよ。必ず甲子園に行って勝てるよ』。そして私の「バッティングの振りを見て、『ボク(私)、いい振りしてるね。とってもいいよ』とほめてくれました。私はうれしくて、その時のことをはっきりと覚えています。しかし、結果は、高3の春から打てなくなり、夏の甲子園予選の直前にクリーンアップの座から落ち、最後はレギュラーを外され、コー

チャーズボックスで終わり、苦悩の高校野球は悲しい思いで終わりました。

今、分析してみると、当時、厳しい練習をしていたのですが、野球の参考書は1冊も読まず、まさに盲目的な辛い練習を一生懸命、重ねていただけだったと思います。野球を好きになったジョセフに教えてあげなければと思い、この春以降、たぶん50冊以上の元プロらの参考書を読み、20枚近くのDVDを見ました。

神様の恵みですが、元ライオンズで9年間励んでおられたEコーチや、日大三高（たぶん、日本でベスト5に入る強豪校）の現役Gコーチとの近所での出会いがあり、ジョセフや私に直接アドバイスをしてくれています。所属チームの監督も元高校英語教師で、約40年間チームを率いて来られた、地域のレジェンドみたいな方で、ジョセフの努力する人間性や野球の可能性を高く評価してくれて得難い存在です。また、ロサンゼルスに戻ると、元ブルワーズのFコーチとの出会いがやはり近所であり、コーチングがいただけます。そうした道を究め、実績を残している人たちからの確かな情報を聞きながら、これを現役時代に知っていたらなー、自分は何も研究や学習をせずに、ただやみくもに辛い練習を重ねていたのだなー、と何度も思いました。辛い練習を、今日もこなせるように…、練習が早く終わるように…という思いで3年間、過ごしてしまっていたのではと思います。学校でも野球部は遠足や文化祭等、出なくてよいという特別扱いの部でした。そこで体力や気

力、忍耐力は養われたと思います。しかし、今ジョセフとの自主練習で感じる喜びと充実感、「どこを、なぜ、どのように改善すべきか」「この練習は、そうした点を克服するための練習である」といった理解や理論的な納得と目的意識がなく、今ならできる技術的進歩もチームへの貢献もできませんでした。

そのことがわかった今、本物のアドバイスを積極的に学び、実践していくことが、見当はずれの一生懸命さ（上述の通り、体力、忍耐力等を養うためには大いにプラスではありましたが）を修正し、効果的な練習・実践に活かす上でも大事だと次の世代に伝えたい思いでいっぱいです」

教育機会確保法関連の議連総会でレポート～1年後の法改定に向けて

12月3日、フリースクール等国会議連からのお招きで、衆議院第一議員会館での議連総会に出席しました。2年前に制定された「教育機会確保法」については、法令で3年後に改定される旨が定められています。つまり、あと1年後に文言の修正等、行われる予定です。それで、実際に現場の声を聴こうということ関係団体に声がかかけられ、チア・につぼんからも率直な声を聴かせてくださいとのことでした。詳細は別紙にまとめましたのでご参照ください（9～11ページ）。

ポイントとしては、現在、教育委員会等からの不条理な圧力は5%ほどはあります。しかし、「教育機会確保法」を特集したチア・マガジン（43号～46号）の4冊や、コンベンション（参加者約820名）やサマーキャンプ（約220名）、白馬セミナー（約440名）のパンフレット等を提示・提供し、愛と祈りと礼節をもって毅然と説明する場合、相手は敬意や理解と礼節をもった対応へと変化していくのが現状です。

「多様な学習活動の重要性を鑑みる」との文言が基本理念を始め、3カ所に明記された「教育機会確保法」の効果は大きいことを感謝と共に伝えました。

「多様な学習活動の重要性を鑑みる」との文言が基本理念を始め、3カ所に明記された「教育機会確保法」の効果は大きいことを感謝と共に伝えました。



多様な教育に関する「教育機会確保法」議連総会

改定については、文言等、微調整の必要性はあるかもしれませんが、基本的には現状でok、周知活動には議連や文科省、現場の私たちが尽力する旨を要望しています。

現在の法律条文は2年あまりの審議の紆余曲折の中で、あいまい模糊とした点があります。聖書的に見れば、そこが本当に良かった点です。なぜなら、多様な教育がokとはっきりと打ち出されれば、細かな定義論争になり、前回のような「教育委員会による許認可制」「月1回の家庭訪問制」といった規制的な法案が再浮上してくるリスクがあります。それよりは、あいまいなゆえに、自由の尊重が保障されている現在の法文が良いという考えです。

あいまいさにとどめている点は、ホームスクーリング先進地のアメリカにも近いです。カリフォルニア州では「私立学校」として届けなければならないという法律がホームスクーリング合法の根拠となっています。我が家も「チア・にっぽんスクールロサンゼルス校」（生徒2名、教師2名）として届け出た時期もあります。テキサス州ではそもそも教育は親の責任の下で行われるものという理念のもと、行政は介入せず、「義務教育法」もありません。

2年前に制定された「教育機会確保法」は、「多様な学習活動の重要性を鑑みる」との文言がしっかりとあり、ホームスクーリングへの圧力はかけられず、一方で、その他は踏み込んでいないので規制等もなく、神様の不思議な御手の中で、ちょうど良い法律となっているのではと思っています。

一つ、今後の課題としては、大学進学に関して、AO入試、推薦入試の場合は、高校卒業が必須条件となっている大学がまだ残っているところがあるようです。そのあたり、就職試験等も含め、何かホームスクーラーに不公平なところがあると思えば、良くないと思います。昨今の国公立大医学部入試で、男女差等を理由に、合否に不当な操作が行われていたことと同様です。チアとしても調査を進め、必要があれば、議連の皆さんに提案をしていこうと思っています。

以上、概観としては、ホームスクーリングを進める環境整備が進んでおり、感謝な状況です。そして日増しに、ホームスクーラーたちの実績が伸びている状況でもあります。とはいえ、アメリカの状況を見ても、もぐらたたきのように法的な妨

害が出てくる歴史があります。引き続き、お祈りと共に、何か圧力等かけられたりすることがあれば、ぜひチア・にっぽんにお知らせいただき、共に切り開いていければと思います。

また、ホームスクーラー、チャーチスクーラーの皆さんの進路・就職状況について、2019年春版作成に向けて、リサーチを進めていければと思っています。2016年春の時点でわかっている情報はチア・マガジン44号20～21ページに掲載しています。それ以降のホームスクーラーOB・OGの進路・就職先情報をお分かりの皆さんは、ぜひチア・にっぽん事務局にご一報いただければ幸いです。そうした進路や実社会への貢献の積み重ねが、さらに今後のホームスクーリング環境整備につながる力となっていき、後輩たちや孫たちの世代の助けになっていきますので、ぜひご協力のほどよろしくお願い致します。

日頃の皆様のご尽力に改めて敬意を表します。聖書が命じているホームスクーリングという教育方法は、まさに教育の神髄であり、最先端の最強の教育方法であること、また日本社会もそれを認知し始めていることを感じました。もちろん、困難なことや、不十分な私たちによる失敗等もあると思います。それにくじけることなく、神様を見上げて、悔い改めと忍耐を持ち、まっすぐに進んでいければと思っています。

キリストにある圧倒的な勝利者

「しかし、私たちは、私たちが愛して下さった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです」（ローマ8:37）

2019年に向かうにあたり、神様のあわれみの深さと、助けと祝福をますます胸に刻んでいます。不十分な私たちではあったと思いますが、神様は本当に憐れみ深く、忍耐をもって接し、助け、導いてくださっている、本当に光栄で不思議なことだなーと思います。新年は改めて研鑽し、成長し、より一層、良き貢献ができればと祈っているところです。

良きクリスマス、圧倒的な勝利の2019年、皆さんへのますますの祝福を祈っています。

心から感謝しつつ

稲葉 寛夫

超党派フリースクール等国会議員連盟合同総会 チア・につぼんからのレポート

12月3日開催の議連総会（会場：衆議院第一議員会館）でのチア・につぼんからの報告の際に、国会議員、文科省、関連団体の皆さんにお渡しした資料の全文です。「教育機会確保法」の見直しは、1年後に行われる予定で、検討が進んでいる中、関連4団体とともに、チア・につぼんも報告を要請されました（関連記事 P7/P8）。神様からの祝福を、引き続き、お祈りください。

「教育機会確保法」で法的環境整備が大きく前進！

議連の各先生方、文科省、法務省、関係各位の皆さんのご尽力で成立した「教育機会確保法」の威力は大きく、大変感謝しています。

【現状報告と提案】

全国各地の教育委員会等がホームスクーラーの親御さんと話し合いを持たれる時、約95%以上の教育委員会の皆さんは、理解や敬意を示されます。

しかし時に不条理な威圧的な対応が約5%ほどあります（チア・につぼん調査）。最近では、警察や児童相談所も含めて面談を求められ、プレッシャーを感じるケースもあります。

そのような場合も含め、「教育機会確保法」を特集した「チア・マガジン43号～46号」4冊とともに、最善の教育環境を願う親子の真摯な取り組みを説明すると、いずれのケースも条文にある通り「多様な学習の重要性を鑑みて」、敬意と理解、あるいは礼節を踏まえた姿勢をもって接して下さっています。

「多様な教育」「ホームスクーリング」が1980年代から拡がり、全米50州で合憲合法となっているアメリカでも、法制度はあいまいな表現に努め、機能している傾向があり、日本の「教育機会確保法」と類似しています。たとえばカリフォルニア州では「PRIVATE SCHOOL」としてホームスクーラーが届け出すればOKであり、テキサス州では、そもそも義務教育条項がありません。今回の「教育機会確保法」もあまり定義づけ等を明確にし、



写真右から 浮島とも子議連理事 / 文科副大臣、寺田学議連事務局長 / 元首相補佐官、河村建夫議連会長 / 元官房長官・文科大臣、馳浩元文科大臣・議連幹事長 / 元文科大臣、笠浩史議連幹事長代理 / 元文科副大臣

逆に規制が強まるよりは、現在の緩やかな理解と責任の元に環境整備が進んでいく方法が良案と思われれます。

実際、「教育機会確保法」のおかげで関係者の理解と環境整備が進んでいます。全国のホームスクーラーの中には、社会や世界に貢献する志をもって、その実力を発揮する子どもたちが出始めています。政府系の奨学金を得ながら、コンピューターのプログラム制作の世界大会で優勝者が出たり、音楽、スポーツ、美術等の全国規模の大会で入賞したり、様々なボランティア活動で活躍したりしています。ホームスクーラー卒の弁護士、公認会計士、TBSの首相番記者、医師・看護師、教師、宣教師、建築家、声楽家、美容師、果樹栽培農家らも徐々に誕生しています。

今度の法改正については、現時点では特に修正の希望はなく、多様な教育を育てていく法の理念、スピリットを失わず、強化し、促進していかれてはと思っている次第です。



「教育機会確保法」に関する議連総会にて報告・提案する筆者（左端）

ただ1点、チア・にっぽんとして調査中の点は、大学入試、資格試験、就職試験における公平性の確保についてです。上記の通り、幸い、難関と言われる大学や学部への進学、資格の取得、就職も進んでいます（添付資料をご参照ください。チア・にっぽんマガジン44号2016年9月6日発行より）。とはいえ、昨今の医学部の男女間での不公正な扱いと同様に、本人に実力があり、面接や筆記試験もうまくいったと思われるケースでも、同じ点数で競っている場合、不合格になっているのではと推察されるケースもゼロではないかと思えます。また、AO入試、推薦入試は国公立大系でも、内申点4.0以上等の条件があり、高認等による受験資格はなく、門前払いの状況の大学もあります。このあたりは、まだ私どもも調査中であり、また、一般入試に向けての受験者のさらなる実力アップを励行していますが、同時に、文科省、また議連の皆様への応援や力添え、必要に応じた制度の改善は、かなり効力を発揮するのではないかとと思えます。

教育委員会等はもちろん、進学、就職先、社会全般に向けて、同法についての全国的な周知・啓発活動は私どもも尽力を重ねていく所存ですが、議連の先生方、文科省、厚生省らの皆様による「調査」、「指導」や「通達」、「制度改革」の力は大き

いです。メディアの使命と力も強力です。

「教育機会確保法」への周知については、同法のスピリットの確信である「多様な学習の重要性を鑑みる」との基本理念や文言についての強調も含め、今後も、引き続き、全国の教育委員会、大学・企業等も含めた学校、児相等への周知・啓発活動を継続いただければと願っています。私たちも努力を重ねます。

尊いご尽力、本当にありがとうございます。今後とも、どうぞ、よろしくお願いします。

【チア・にっぽんに寄せられている学校・教育委員会とのやりとり、教育機会確保法に感謝した声】

以下、この1ヶ月でチア・にっぽんに寄せられた「教育機会確保法」関連の報告・相談等です。

●（前略）先程、教育委員会からホームスクーリング中学生となる次女についての電話がありました。過去に話した高圧的な若い男性と違う担当者でした。語られた内容は「上の子（長女）と同様ホームスクールするなら、過去に説明した内容と同じだが、出席しなければ卒業できなくなる可能性もあるので、ご了承ください。あと、現在と同様、学校と連絡を取り合って状況確認させてください」ということでした。おっしゃっている内容はともかく、その姿勢や口調は、ずいぶんソフトになっていました。

5年前は「日本国籍を持つ子には（ホームスクーリングは）認められない」「小学校を卒業できない」「小学校を卒業できないと中学に入学できない」などなど脅迫めいたことを言われました。高圧的な言い方含めて当時の私はかなり動揺しましたが、今は「教育機会確保法」のお陰で、その説明をすれば良いという安心感もあり、「わかりま

した。では学校と相談いたします」と穏やかに応えることができました。

(その2週間後・学校側と話して)

今日、長男の入学する小学校で就学時健診がありました。教育委員会に提出した入学意思確認の書類には「ホームスクール希望」と明記していました。

親子面談の時、2年前の姉(ホームスクーラー)の担任が座っていました。その先生はホームスクールをいつも面白がってくれて、感心してくれていました。なので話が早く、娘の近況を報告したあと、「今後どう話を進めたらいいですか?」と聞いたところ、「今、校長と話せばいい」とすぐに案内してくれました。

校長先生は、ホームスクールを始めた時に面談した方の後任の方です。赴任してこられた2年前は特に面談もせず、でも、娘のために一人だけの卒業式をしてくださいました。

教育委員会からも連絡は行っていたようですし、今まで通りで、ということでスムーズに話がすすみ、和やかに終わりました。区の「前例」になれたかな、と思いました。(東京 Aさん)

●先週の金曜日、急遽小学校の副校長先生に会うことになり、主人と行きました。副校長先生は「私、ホームスクールについてよく知らなくて」ということで、最新のチア・にっぽんマガジンから遡って「教育機会確保法」が特集されている4冊を出し、主人がじっくり説明することができました。マガジンがあるとインパクトがあって、話もしやすく、よく聞いてもらえました。「私にも子どもいますが、理想の教育ですね」とおっしゃり、最後にマガジン4冊を差し上げると、「勉強させていただきます」とのことでした。お渡しできて本当に嬉しかったです。ホームスクールしていなかったら、校長先生や副校長先生に個人的に会うこともないですし、大変、感謝です!

(東京 Bさん)

●今朝、妻と小学校の副校長先生に呼び出されました。教育委員会から「3日以上休んだ生徒がいたら『虐待やネグレスト』がないか確認するように」と指示があるとのこと。息子たちは一回も学

校に来ていないのでお話を聞きたいとのことでした。

妻が最近のチアのマガジンを準備していたので、早速取り出し、チア・にっぽんが立ち上がった経緯、ホームスクールについて「教育機会確保法」をめぐる国会でのやり取り、そして、ホームスクーラーの上の3人の子どもたちの進路(チア注:長男・さいたま医大、次男・早稲田大教育、長女:和泉短期大学(保育))についても話せました。

「親が子どもの教育に責任を持ち、共に成長していく」というチア・にっぽんのセミナーに参加して僕たち夫婦が決心したこと、また、毎年のセミナー、サマーキャンプ、チアオリンピック、被災地へのボランティア活動等を報告したところ、「素晴らしいですね。子どもたちは親の背中を見て育つ。私も親なのですが」と最後には温かいお言葉をかけていただきました。

もし、チアの働きや教育機会確保法成立に労された皆さんの働きがなければ、ホームスクールの説明をする時にも説得力がないと痛感しました。学校の帰りの道でも「本当に、チアの働きや教育機会確保法を成立してくれた皆さんに感謝だね」と話しながら家に着きました。本当にありがとうございます。(東京 Cさん)

●学校と教育委員会には、事前にチアマガジン43号~46号等を渡し、教育機会確保法の成立過程でのやりとりも含め、ホームスクーリング、チア・にっぽんとの活動について理解してもらい、ミーティングの場を持ちました。学校長は「ホームスクーリング」で子どもたちを教育する姿勢について、理解を示して下さり「今度、保護者が集まるPTA全体会があります。そこでホームスクーリングについて話してください。約180名あまりの児童の保護者の皆さんが参加されます。学校側としては、個人だけのホームスクーリングでなく、チア・にっぽんともよく連携されていることも話してくださいと助かりますので、それも話してください」とのことでした。当日、緊張しましたが、とても楽しく話せ、皆さんもあたたかい雰囲気の中で話を聞いてくださり、感謝でした。「教育機会確保法」も大変、感謝でした。ありがとうございます。(福島 Dさん)

ホームスクーラー、豊かな実を結ぶ！

神様にあつてのホームスクーラーたち。多くの実が結ばれつつあります。今、その実が見えても見えなくても、必ず実には結ばれつつあると信じています。今回、そうした中から3人のホームスクーラーたちの近況を紹介させていただきます。

「わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。わたしの枝で実を結ばないものはみな、父がそれを取り除き、実を結ぶものはみな、もっと多く実を結ぶために、刈り込みをなさいます。……わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」(ヨハネ 15 : 1. 2. 5)

コンピュータープログラミングの世界コンテストで世界一、グランプリ獲得！ 三橋 優希さん (15 歳)

アイルランドで開催されたプログラミングコンテスト世界大会の一つ「Coolest Project 2018」(参加者約2000人、<http://coolestprojects.org/registration-2018/>)で、優希さんが、ゲーム部門のグランプリを獲得しました。プログラマーである父、宏史さんは2年前、胃がんを患い、闘病されることとなり、チア・コンベンション会場やニュースレターを通して、全国の皆さんと祈りを共にし、回復の道を歩まれてきました。優希さんは、「バイブルミュージアムプロジェクト」でのボランティアや、コンベンションでのLITなどで活躍しながら、プログラミング開発にも挑戦中でした。宏史さんは、優希さんの受賞について「主が思いも出会いもアイデアも意欲も与えてくださいました。主が完全にコントロールしておられる感じです。主にご栄光をお返しします。いつもお祈りありがとうございます！」と語っておられました。



世界大会でグランプリ受賞の優希さん (アイルランドにて)

アイルランドから帰国後には、政府系の外郭団体が主催する「SECHACK365」や「未踏ジュニア」というプログラムの審査に通り、それぞれ1年および半年間の開発プロジェクトにも取り組んでいるところです。審査の過程で、学籍など応募に必要な資格についてチアにもご相談があり、やり取りさせていただきました。そのことについて宏史さんからのコメントです。

「稲葉さん・チア事務局の皆さんの具体的なサポートをいただき、祈ることを重ねるうちに、主は私に次のことを語り教えてくださいました。『自分たちでやろうとしなくて大丈夫だよ。これはわたしが与えた機会だ。わたしが責任を持つよ。だから恐れなくて大丈夫。安心なさい。言葉はわた

しに次のことを語り教えてくださいました。『自分たちでやろうとしなくて大丈夫だよ。これはわたしが与えた機会だ。わたしが責任を持つよ。だから恐れなくて大丈夫。安心なさい。言葉はわた

しが与える』。そのようなメッセージを受けました。“結果は主に委ね、ややドキドキが残りながらも、一步踏み出す”という経験をさせていただきました。主の御心のみがなること、その前提のもとで神様に頼ること、その恵みを受け取る幸いを学び直しました。振り返る時に、ただただ神様の恵みに嬉しくなり、感謝ばかりがあふれてきます(^_^)

今回、私たちがホームスクーリングに取り組む目的と動機、今までを振り返り、現状チェックをする良い機会ともなりました。主が導いてくださったこと、すべて与えられ、霊肉魂いずれにおいても具体的な成長の恵みがあること、具体的な主の祝福の道が開かれてきていること。どこをとってみても主の導きがあり、恵みが満ち溢れていることを家族で確認することができました。本当に感謝です！

そして、主催者・面接官の方から『なぜホームスクーリングするようになったのか？』という問い合わせをいただき、主の恵みを（控えめながら）証する機会を得ることができました。先方は、参加対象の子どもの適性について保証がほしいのだろうと私は推察しました。その点、ホームスクーリングの取り組みのあらゆる点について、堂々と語ることに改めて気が付きました。・「親が責任を持って子どもを育てる」という日本国憲法および各種法律の原理原則・理念に基づき実践していること

- ・ 聖書に基づくがゆえに社会性を身につける点を特に重視していること（隣人を愛する）
- ・ 教科学習面、習い事を通して、能力開発もできていること
- ・ 子ども個々人に合わせた学習ができるため、効率が良いこと。確保できた時間を使って、それぞれの興味分野を掘り下げることができる（優希の場合はプログラミング開発とデザインに多くの時間を割くことができている）
- ・ 時間配分が効率的であるため、年齢の割に自分の興味と適性を理解し、また多くのことができるようになっていること
- ・ 家族での時間を多く確保できるため、情緒が安定していること

チャ・につぼんのお働きが、私たち家族の霊的かつ精神的な支えとなっていることもご紹介することができました。また、信仰やビジョンを共にし、チャーチ&ホームスクーリングの恵みを共有できる全国の兄弟姉妹の皆さんの存在が、具体的な心の支えになっていることも改めて感じています。本当にありがとうございます！また、信仰を共にし、チャーチ&ホームスクーリングの恵みを共有できる兄弟姉妹の皆さんの存在が、具体的な心の支えになっていることも改めて感じています。突然の相談にも関わらず、チャ事務局の皆様には迅速にご対応いただきました。誠にありがとうございました！主のために多くの犠牲を払いつつ、荷を背負ってリードしてくださっていることに心から感謝しています！

優希には、人の思いで進めるのではなく、主に祈り求め、委ねてそのご栄光を見ることを折に触れて伝え、何よりも神様と共に歩む幸いを伝えています。信仰において一致しながら、子どもと話ができることは、本当に喜ばしく楽しいことです。ホームスクーリングという、これも恵みの中で神様との関係が培われてきていることに改めて感謝しています」

三橋宏史さんのがんの回復は順調で、約1年休んでいた職場にも11月から復帰されています。10月には宏史さんのお母さんを信仰に導かれた宣教師の娘さんと出会うことを大きな目的に、三橋ファミリーの信仰のルーツであるカリフォルニア州サンノゼを妻の優子さんや3人のホームスクーラーたち、家族全員で訪問。一緒にロサンゼルスや、以前チャ・マガジンやニュースレターでご紹介させていただいたヨセミテ国立公園の1000mあまりの岩壁を真下に見られるグレイスポイントやサンディエゴ等を訪ねられたそうです。宏史さんの快気祝いと、優希さんはじめ子どもたちの修学旅行&小学と中学の卒業旅行ほか、神様とご家族のきずなを強める旅だったそうです。「宣教師の

皆さんがいかなる覚悟をもって日本という地で仕えてきてくださったか、その犠牲の大きさを、今回言葉も文化も違う異国の地に行ったことで改めて感じる事となりました。子どもたちの卒業旅行ともなり、神様の深い恵みを確信しました。前回のチアニュースレターで、サンディエゴ近郊エスコンディードの原野でのエピソードを読みました。“I can do nothing, but God can do everything!!” 何度聞いても心に迫ります。非常に意義深い場所と時であったことに思いをはせながら、雄大な南カリフォルニアの乾いた大地の風景を思い出しました」とのことです。ハレルヤ！

**ウクレレ演奏の高評価を、神奈川県の新聞社が紹介！
カポンポン慈愛来（ジャイラ）くん（14 歳）**

日頃、白馬セミナーへの参加やコンベンションでの LIT、聖句書道展等で活躍しているカポンポンジャイラ君のウクレレ演奏が、神奈川新聞に「14 歳、ウクレレに夢乗せて横須賀、オーディションで高評価」とのタイトルで掲載されました（2018 年 9 月 9 日）。

横須賀市と大手音楽会社などが開いた、世界に羽ばたく若手アーティストを発掘するオーディションに参加した、ジャイラ君。記事では、3 年前にウクレレを始めた理由として、「父のデロンさん（44）が牧師を務める教会で、いとこの男性（20）が奏でるのを見たこと、ドラムを好きな父デロンさんの影響で幼いころから、ドラムやエレキベースといった楽器に親しんでいたこと」などが記述されました。

また、ホームスクーリングにも触れ、「家庭で学習する『ホームスクール』を選び、ウクレレととことん向き合う。今は毎週日曜日、父の教会で、賛美歌の伴奏を弾いて腕を磨いている。慈愛来さんは『ウクレレを世界に広めたい。力を抜いて聞いてもらい、観客がリラックスした気分になってくれればうれしい』と話している」と、好意的に伝えてくれています。

ちなみに、やはりホームスクーリングで育った兄の頼基君は、イスラエルでの奉仕・リーダー訓練プログラムに参加し活躍中です（ブリッジ・フォー・ピース主催。ホームスクーラー卒の梶山大君と一緒に参加中）。ジャイラ君は、10 月に行われた「ホームスクール・フェスタ」でも、ウクレレを演奏し、神様を賛美しました。「将来はプロになって本場ハワイでも演奏したい」というジャイラ君と、カポンポンさんファミリーへのますますの祝福を皆さんと共に祈っていただきたいと思います。

母、奈央子さんからの追伸です。「11 月 30 日、ジャイラが『The Ukulele contest 4 All』コンテストの U15 の部門で、最優秀賞を受賞しました。ホームスクーリングをして、世に出て行く準備の真っ只中で、こんな風に出て行って大丈夫なのか？と、常に複雑な気持ちがあります。でもまさに、息子たちは堂々と証してます。課題やリスクはたくさんあるとも思いますが、主に感謝し委ねつつ、親として祈り、できる限り関わりつつ、それぞれの子どもたちが導かれた宣教へと送り出していただきたいと思います」



神奈川新聞 9 月 9 日版より

囲碁・三段位獲得戦で優勝！お兄さん・お父さん（共に五段）に続く優勝！ 山崎光基君（12歳）、恵大君（14歳）、啓一さん（45歳）

10月11日、山形市で開催された囲碁大会（山形新聞・山形放送主催の「山形県囲碁三段位獲得戦」。優勝者には日本棋院三段の免状が贈られる）で、ホームスクーラーの山崎光基二段（12）が優勝しました。準優勝者は64歳、3位は79歳とベテランが競う大人の大会で最年少の光基君が勝ち切りま



した。父啓一さん、兄恵大君に続く、山崎さん家族3人めの優勝者です。

「光基が勝利できたことは、主が少し疲れぎみの私たちに喜びを与えて下さったのだと感謝しています」と母のこずえさんは喜びをチア・にっぼんに伝えてくれました。「光基は、自宅で父と兄がやっていた囲碁を真似て、ただ父と兄が大好きで、ここまで来ました。自宅で兄と楽しく囲碁特訓をして、あとは、ほとんど独学です。おとなしい光基が新聞社の格調高いビルの会場・そして大人の中で、堂々としていました。テレビと新聞社が取材にきましたを受け答えもしっかりしていました。この落ち着きはホームスクーラーならではですね。社会性は大丈夫です！」

山形新聞は、写真入りの記事で以下のように報じました。「山崎二段の兄・恵大さん（14）は16年大会、父・啓一さん（45）は1998年大会でそれぞれ優勝。家族3人目の優勝者で、山崎二段（※チア注・現在、三段）は『プレッシャーはあったけれど、盤面に集中して勝つことができた。うれしい』と笑顔を見せた」（山形新聞2018年11月13日版）

光基君や恵大君が学籍をおいている小学校・中学校の先生方も、また3男の友生君（10）がいる施設のスタッフの方からも「新聞、TV見たよ！」と声をかけていただき、家族で励まされたとのこと。

母のこずえさんは言います。「すごい先生に弟子入りするわけではなく、ただただ父と兄が好き！この強いきずなに私は泣きました。神様や家族のきずなが深まり、伝道の想いをもって、社会で輝くというホームスクーリングの実が見えて、感謝しつつ気持ちを新たに歩んでいきます。『だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます（マタイ6:33）』との御言葉が示されます。

子どもたちは幼稚園の頃、父の教えで好きになり、その後、町の『子ども囲碁教室』に通う時期を経つつ、基本は、親子で囲碁を楽しんでいます。力試しで大会に出る中で、宮城県の大大会で優勝、また文部科学大臣杯山形県少年少女囲碁大会で優勝、全国大会に2度出場に続いての今回の優勝となりました。3人とも今は、地元の囲碁研究会から声がかかり、月に1度囲碁打ちに行きます。その強い棋士さんも子どもが生まれ、どうやったら子どもを囲碁好きにできるか、我が家に興味をもって話しかけて下さいます。

チア・オリンピックアンケート♪

11月10日、秋晴れの空の下行われましたチア・オリンピックの参加者の声をお届けします！



*****大人*****

●家族皆で参加できて本当に楽しかったです。ノクリスチャンの母も2回目の観戦！！感謝します。藤井さん、ボランティアの方々や、準備して下さったチア・スタッフの方々も、本当によく働いてくださいました。ありがとうございました。皆でメダルがもらえて、また来年も出ると喜んでます。いつも尊いご奉仕をありがとうございます。チア・にっぽんの励ましを受けて、今日もホームスクールを楽しんでいます。

(東京 Aさん)

●この度の参加は3回目となります。このオリンピックは、幼児から大人まで共に参加し、離れた地域に住む方々と相互に交流が持て、大変充実した内容であると思います。来年も参加させていただきたいと思います。

(埼玉 Bさん)

●旦那は、当日頭痛がしてあまり体調が良くなかったのですが、参加して良かったと申しております。ありがとうございました。

(埼玉 Cさん)

●綱引き、ソフトボール投げなど

日常的にはできない運動ができてよかった。子どもの運動不足が不安だったので、広い場所で追いかけてこをしながら自然に運動している姿を見るのも嬉しかったです。久しぶりのホームスクールママたちとの情報交換や、個人的な祈りの時間にも感謝でした。

(東京 Dさん)

●大変お世話になりました。すばらしい天候の下、皆さんと競技に取り組み、娘も私も初参加でしたが、楽しく過ごせました。5歳でどのくらい参加できるか心配でしたが、どれも楽しんでいました。ボランティアやスタッフの方々

の働きに頭が下がります。それぞれの役割の場で、小さい子どもたち、大きい子どもたち、女性、男性、母親、父親がとても輝いておられたことが印象的でした。力仕事は男性が率先してやっておられて、それを見ている子どもたちも尊敬すると思いました。小さな子どもたちの競技に取り組む純粋な姿勢、大きい子どもたちが助け手となってあげる姿勢、そして思春期である子どもたちも一生懸命な



ところ、女性の多方面での気配り、父親たちの全力で走る姿、どれをとってもキラキラしていました。山口から参加した我が家には、大阪コンベンションでさえも距離があり、中四国九州方面で開催があれば、なおうれしいですが、この働きがおおいに用いられるよう私も他の人たちに勧めていきたいです。(山口 Eさん)

●チア・オリンピックではお世話になりありがとうございました。今回初めてボランティアをさせていただき、とても楽しかったです。日頃接することのないホームスクーラーの子どもたちや他のボランティアの方々との関わりをととても幸せに思いました。近況報告の時間もお互いを知るために良かったです。今回は運動の秋開催ということで清々しく、過ごしやすかったことも感謝でした。プログラムを考えて指導して下さった藤井

先生、準備して下さったスタッフの皆さまに心から感謝します！初めての参加だったDくん、お母さんもとても喜んでおられました。チアのイベントはいつも温かく居心地がいいですね。

(東京 Fさん)

●チア・オリンピック、また事前の準備も、本当にお疲れ様でした。家族共々素晴らしい時を過ごさせていただき、心から感謝しております。走ること、体を鍛えることへのモチベーションを高める良いきっかけになり、親としても感謝です。お忙しくされていることと思いますが、今年も共に主にあって歩み、またお交わりもできたことを心から感謝します。

(千葉 Gさん)

●初参加でしたが、勝ち負け関係なく、みんながイエス様であって金メダルなんだと感じられた一日

でした。5歳の娘もホームスクーラーの友だちができ、健全な競争、みんなで力を合わせての勝利が体験できて楽しかったようです。ホームスクーラーの子どもたちの実(素直さ、献身的な態度、マナーの良さ)を見ることができ、この方向性が間違いではなく、神様の願いだと確信することができました。来年も、エントリー種目を増やして参加したいです。私は、綱引きが一番盛り上がりました！団体種目は習い事等をしていないと普段なかなか経験できないので、感謝です。いつも尊い働きに感謝しています。また可能な限り、主の導きがあればイベント等(キャンプ・コンベンション・オリンピック・白馬セミナー等)参加できたらと思います。準備・進行等本当にお疲れ様でした&ありがとうございました！

(栃木 Hさん)

●念願の初参加でした。乳児から大人まで、ゴールを目指して本気で走って頑張っ、順位よりも最後までやり遂げることの、達成感を味わうことができ、すごく楽しい時間でした。我が家は、メダルは恵みと憐みで頂きましたが…、全員が体力の無さを実感しました。これを機会に来年に向けてまず体力作りから始めています。ありがとうございました。

(埼玉 Iさん)

●参加者がとても多くて驚きました。初めての参加で、とても楽しく盛り上がり、良い思い出ができました。普段思いっきり走る機会は、子どもと公園で遊ぶ時しかな

かったので、チア・オリンピックへの参加をきっかけに、走る練習を重ね、当日100m走、400m走を走ることができて良かったです。39歳の自分が中学生たちを相手に思いっきり走り、もちろんビリでしたが、自分の現状やタイムを知ることができ、楽しかったです(笑)自分の成長課題を見つけ、来年は稲葉さんのように1位を目指して頑張ります!!!特に良かったのは、稲葉さんが1位を獲ったことです!!!代表としてやるべきことが沢山ある中、自らも競技に参加し、真剣に走っている姿に心打たれました!!!模範を示す姿、若さの秘訣を目の当たりにできて感謝しています!!!

本当にありがとうございました!!! (栃木 Jさん)

●各家族紹介の時間がとてもいいです。ここで大分知り合いが増えました。 (長野 Kさん)

●気持ちの良いお天気の中、参加させていただきました!久しぶりにお会いできた懐かしい方々との再会も嬉しかったし、成長されているホームスクーラーの子どもたちの姿にも感動しました!お昼の交わりタイムも皆さんの近況が聞けて、励まされました。皆さんのあたたかい応援の姿がとてもよかったですと思います。また、綱引きが想像以上に燃えました(笑)楽しくていいですね!やったあ!と周りのみんなでハイタッチして、充実感と笑顔でいっぱいでした!娘たちもメダルを頂き、喜びにあふれた1日であったことを感謝します!

「しかし主のいつくしみは、とこしえからとこしえまで、主を恐れる者の上にある、その義は子らの子に及び、その契約を守り、その命令を心にとめて行う者にまで及ぶ」 詩篇 103:17~18

従順で素直な子どもたちの姿を見ながら、ホームスクールを決心した者に注がれる、主のいつくしみを思いました!スタッフの皆様の方にも感謝します!美穂さんにお会いできたのも嬉しかったです! (神奈川 Lさん)

●毎年違ったドラマが展開されている感じで今年も楽しかったです。昨年はチア・オリンピックへ向けて準備する中で怪我をしてし



まい、何もできませんでした。今年は全種目に参加できました。短距離走で今年は稲葉さんに惨敗を喫したので来年は負けないように準備したいです。チアで知り合ったお友だちに会えることも毎年楽しみで、アップデートを聞けるのが楽しみの一つでした。準備してくださった皆様に感謝です。「メダラー一人一つ」はとても良かったと思います。いつもありがとうございます。(東京 Mさん)

●参加できて良かったです。挑戦してみたら、思いがけず得意なことを発見できたり、良い経験になりました。全体の進行がスムーズでスピーディー。メダルをグレードアップ方式にしたのも良かったと思います。関わる皆さんが進んで協力している姿を拝見し、あたたかい雰囲気だなと感じました。いつもホームスクール家庭のために労してくださり、祈り、励ましてくださることを、心から感謝しています。チアがあるからこそ、そして、ホームスクール仲間がいるから、頑張れます♡(もちろん神様の技ですが。)(埼玉 Nさん)

*****子ども*****

○とても楽しかったです！競技に出たみんなが表彰されるのが良かったです。忙しい中、企画してくださり、ありがとうございました。お祈りしています。

(東京 Aさん 13歳)

○楽しかったです！来年は、もっといろいろな競技に参加したいです。みんなと楽しく走れてよかつ

たです。いつも準備してくれてありがとうございます！これからもよろしくお願いします！

(東京 Bさん 9歳)

○たのしかった。1500mを走れて嬉しかった。来年200mも、400mも出たい。

(東京 Cくん 7歳)

○チア・オリンピックでは、山形や長野など、いろいろな地域の人に来ていて交わりができた。来年も参加したい。

(埼玉 Dくん 13歳)

○久々にいろいろな人に会えて楽しかった。綱引きが楽しかった。ジャベリックスローなど普段できないことができてよかった。

(東京 Eさん 14歳)

○400mを走れてよかった。綱引きが楽しかった。ジャベリックスローは初めてだったのでたのしかった。

(東京 Fさん 12歳)

○お友だちと遊べて楽しかった。走るのが楽しかった。

(東京 Gくん 6歳)

○今回は、100mで2位に入れて嬉しかったです。1500mでは、自己記録を大幅に伸ばすことができ、目標達成できました。来年は、1500mで、5分台を目指してトレーニングします。100mでも、1

位を目指してがんばります。

(千葉 Hくん 10歳)

○750mで、がんばれてよかったです。100mでも、思い切り走れました。気持ちが良く、友だちも良い交わりができたので良かったです。来年は、1500mに挑戦します。(千葉 Iくん 7歳)

○めっちゃ楽しかった。初めて金メダルをとれてうれしかった。いつもいろんなことをしてくれてありがとうございます。

(長野 Jくん 10歳)

○ベリーグッド!!!

(長野 Kくん 13歳)

○たのしかった。友だちと遊んだのも良かった。来年もメダルをもらいたい。いつもありがとうございます。(長野 Lさん 6歳)

つづく・・・



映画「アメイジング・グレイス—無料試写会+ DVD 販売会」 2020年5月17日で終了です！

上映できなくなる前に、ぜひ試写会を！

多くの感動と励ましを呼んできた映画「アメイジング・グレイス」。日本での上映契約が2020年5月17日で切れる旨、プレシディオ社からご連絡いただきました。9年余り、日本全国で用いられ、好評だった「無料試写会+ DVD 販売会」も2020年5月17日をもって、終了となります。日本から映画「アメイジング・グレイス」が消える前に、ぜひ、「無料試写会+ DVD 販売会」の企画をご検討ください。(詳細はチア事務局へどうぞ！)



DVD「アメイジング・グレイス」 日本市場から消える前に、各ご家庭に1本！

DVD「アメイジング・グレイス」も日本での生産についての契約期間は既に終了し、追加生産は中止されています。現在は、在庫販売のみの状況で、在庫が無くなり次第、販売も終了とのことです。日本市場から消える前に、各ご家庭に1本を（消火器か救急箱みたいでごめんなさい(^-^;)。お申込みはP23のオーダーシートでどうぞ！

*本来DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会・教会等における上映会は禁止されています。しかし、チア・にっぽんが正式な窓口となって、「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」については、配給元であるソニー・ピクチャーズ社に、「アメイジング・グレイス」はプレシディオ社に申請し、開催者が上映会と共に、DVD販売会を必ず行うという条件の元、合法的に許可をいただく道が開かれています。

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」「アメイジング・グレイス」

無料試写会 & DVD 販売会資料請求

Email: office@cheajapan.com FAX: 03-6862-8648 TEL: 042-318-1807

開催ご希望の方もしくは興味を持たれた方は、まず事務局までご連絡ください。資料を送付いたします。

試写会案内、申込書の送付希望。

氏名：

Email：

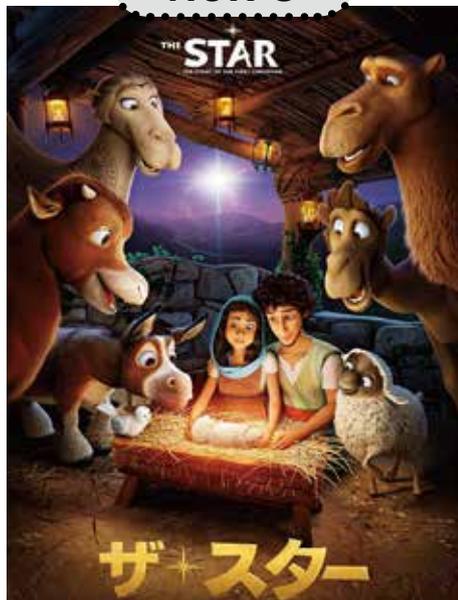
住所：

電話番号：

備考：開催予定日や、どの作品でなどありましたらお知らせください。

いなちゃんのお薦め映画ライブラリー No.78

お薦め作品
No.78



★ザ・スター 初めてのクリスマス★

興行収入全米6位！
2018年度ムービーガイド賞最優秀キリスト作品賞
全世代への偉大なクリスマス作品

偉大な、意義ある人生を過ごしたいと思っているロバのボー。思い通りにならないまま、苦しい日々を送っています。その頃、マリアは天使から、救い主を身ごもったと告げられます。その話を友達の鳩から聞いたボー。自分も救い主イエスを見たいと思い、年老いたロバの助けによって、ひどい主人から脱出し、マリアと出会い、天使に励まされたヨセフたちと共にベツレヘムに向かいます。一方、東方の三博士と3頭のラクダ（フェリックス、シラス、デボラ）一行により、「救い主誕生」を知ったヘロデ大王は、イエスを殺すために強い兵士と狂暴な犬たちを派遣します。

ボーは、何とか、ヨセフとマリアに危険を伝えようとしますが…。

イエス降誕のクリスマスストーリーが、良く描かれ、聖書的。動物たちの視点から描かれ、ユーモアセンスにあふれ、また新鮮で、子どもも大人も家族で楽しめる作品です。祈りは答えられ、神様の愛の計画は偉大、でもそれは「楽で簡単」ということではなく、意味と意義あるものだ！その偉大な人生は、救い主を受け入れる時に、誰でも歩めるんだ…といったメッセージが、伝わります。我が家のジョセフ（10）も既に20回あまり観ています。心が励まされる作品で、お勧めです。

作品に流れる讃美歌、クリスマスキャロルも美しく、著名な歌手のマライヤ・キャリーが主題歌を歌い、ゴールデン・グローブ賞にノミネートされています。

ムービーガイド社も「この作品は、必ず観るべき全世代への偉大なクリスマス作品の一つ」と高評価です。楽しく励まされる作品、ぜひ、お楽しみください。



この2作品、さらにお安くなりました！

「若草物語」

「クオ・ヴァディス」

定価514円

324円 (税込)

*ご購入は、次ページのDVDオーダーシートをご利用下さい！

名作映画 DVD (書籍) オーダーシート

⇒ FAX 03-6862-8648 メール office@cheajapan.com または郵送

◆廉価版! 「大草原の小さな家シーズン1」	旧価格 5,122円 → 新価格 2,980円 () 枚 (全26話収録)
◆廉価版! 「大草原の小さな家シーズン2」	旧価格 5,122円 → 新価格 2,980円 () 枚 (全22話収録)
◆廉価版! 「大草原の小さな家シーズン3」	旧価格 5,122円 → 新価格 2,980円 () 枚 (全23話収録)
◆廉価版! 「大草原の小さな家シーズン4」	旧価格 5,122円 → 新価格 2,980円 () 枚 (全24話収録)
◆廉価版! 「大草原の小さな家シーズン5」	旧価格 5,122円 → 新価格 2,980円 () 枚 (全24話収録)
◆廉価版! 「大草原の小さな家シーズン6」	旧価格 5,122円 → 新価格 2,980円 () 枚 (全24話収録)
◆廉価版! 「大草原の小さな家シーズン7」	旧価格 5,122円 → 新価格 2,980円 () 枚 (全22話収録)
◆廉価版! 「大草原の小さな家シーズン8」	旧価格 5,122円 → 新価格 2,980円 () 枚 (全22話収録)
◆チア価格! 「祈りのちから」	価格 4,104円 → チア価格 3,480円 () 枚
◆チア価格! 「復活」	価格 4,104円 → チア価格 3,480円 () 枚
◆チア価格! 「天国からの奇跡」	価格 4,104円 → チア価格 3,480円 () 枚
◆◇ DVD 「ファイアー・ストーム」 + 書籍 「決断する愛」 セット	4,104円 () セット ◇ 書籍 「決断する愛」 1,728円 () 冊
◆チア価格! 「ハート・オブ・ソウル・サーファー」 (約2時間、ポスター付)	1,543円 () 枚
◆チア価格! 「アメイジング・グレイス」	3,588円 () 枚 ◆廉価版! 「ソウル・サーファー」 1,543円 () 枚
◆ 「フェイスング・ザ・ジャイアント」	1,523円 () 枚 ◇書籍 「ソウル・サーファー」 713円 () 冊
◆廉価版! 「レ・ミゼラブル」 (ミュージカル版)	1,543円 () 枚 ◆廉価版! 「空飛ぶペンギン」 1,533円 () 枚
◆ 「レ・ミゼラブル」 (ドラマ版)	1,523円 () 枚 ◆ 「炎のランナー」 1,533円 () 枚
◆ 「42 ~世界を変えた男~」	1,543円 () 枚 ◆ 「塩狩峠」 3,218円 () 枚
◆ 「96 時間」	1,533円 () 枚 ◆ 「黄昏」 1,543円 () 枚
◆ 「RV」	1,523円 () 枚 ◆ 「怪盗グルーの月泥棒」 1,543円 () 枚
◆ 「キング・オブ・キングス」	2,700円 () 枚 ◆ 「奇跡の人」 1,944円 () 枚
◆◆ 「クオ・ヴァディス」	324円 () 枚 ◆ 「剣と十字架」 1,944円 () 枚
◆ 「グラン・トリノ」	1,543円 () 枚 ◆ 「幸せのちから」 1,523円 () 枚
◆ 「グレイテスト・ゲーム」	1,543円 () 枚 ◆◆ 「若草物語」 324円 () 枚
◆ 「サムソンとデリラ」	514円 () 枚 ◆ 「十戒」 1,543円 () 枚
◆ 「しあわせの隠れ場所」	1,543円 () 枚 ◆ 「聖衣」 514円 () 枚
◆ 「偉大な生涯の物語」	2,046円 () 枚 ◆ 「素晴らしき哉、人生」 514円 () 枚
◆ 「スパイキッズ」	1,543円 () 枚 ◆ 「天地創造」 1,533円 () 枚
◆ 「スパイキッズ2」	1,944円 () 枚 ◆ 「僕はラジオ」 1,543円 () 枚
◆ 「トゥルーマンショー」	1,543円 () 枚 ◆ 「名犬ラッシー」 514円 () 枚
◆ 「ドリームズ・カム・トゥルー」	1,523円 () 枚 ◆ 「路上のソリスト」 1,543円 () 枚
◆ 「ナルニア国物語1」	1,944円 () 枚 ◆ 「ベイマックス」 3,580円 () 枚
◆ 「ナルニア国物語3」	1,533円 () 枚 ◆ 「ズートピア」 3,580円 () 枚
◆ 「プリンス・オブ・エジプト」	1,944円 () 枚 ◆ 「ファインディングドリー」 3,580円 () 枚
◆ 「ベン・ハー」	1,543円 () 枚
◆ 「アイ・アム・レジェンド」	1,543円 () 枚
◆ 「チェンジング レーン」	1,543円 () 枚
◆ New! ザ・スター 初めてのクリスマス	チア価格 4,104円 → 3,780円 () 枚
合計 枚	

(個人鑑賞用です) (価格はすべて税込) ※ 5000円未満の注文、または遠隔地の場合、送料(実費)あり。※ 1万円以上のご購入の場合、代引発送となります。
※品切れの際は、少し発送にお時間を頂く可能性があります。また、製造中止の場合、廉価版完売等の場合もありますので、どうぞご了承下さい。

お名前	お電話番号
(〒) ご住所	

チア・にっぽんカレンダー

- 大阪コンベンション 5月31日～6月1日
◇大阪羽衣青少年センター
- 東京コンベンション 6月7日～8日
◇国立オリンピック記念青少年総合センター
- 2019白馬セミナー 11月21日～23日
◇ホテルグリーンプラザ白馬

コンベンション2018 講演・分科会CD・DVD

全70講演を収録したコンベンションDVD、(コンピューター用・mp3版)には、特別講師の講演のパワーポイントデータも入っています。お申込みは、チア事務局へ!

定価 6800円(税込)

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P
定価：本体 2,000円 + 税

柏崎良子医師のマリヤ・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。



<本の内容>

序文. 発達障害や精神障害の治療を願って

- I. 発達障害から良くなった子供たち
- II. どのように治療をするのか
 - A. 治療の枠組みと方法
 - B. 発達障害についての私たちの立場
 - C. 発達障害の治療への取り組み
 - D. 治療方法の説明
- III. 治療に必要な知識や理論
 - A. 身体の形成と栄養の補給
 - B. 障害への対応の基礎知識
- IV. 統計、よくある質問、索引
 - A. 発達障害検査統計
 - B. よくある質問



株式会社ヨーゼフ ご注文は TEL/FAX、アマゾンでの購入も可能です
http://yozeff.com/ TEL 043-207-6035 FAX 043-207-6036

【8月会計】

収入	
献金	1,748,983
書籍・教科書	235,607
会費	55,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	54,189
その他	109,723
	2,233,502
支出	
事務局経費	1,143,216
通信運搬費	69,614
交通費	37,020
印刷費	295,558
DVD & 商品仕入費	34,680
	1,580,088
残高	653,414
前期繰越	-277,799
翌期繰越	375,615

【9月会計】

収入	
献金	1,181,000
書籍・教科書	16,604
会費	48,000
広告	322,368
DVD/CD、ビデオ等	56,778
その他	19,877
	1,644,627
支出	
事務局経費	1,389,315
通信運搬費	63,581
交通費	132,485
印刷費	0
DVD & 商品仕入費	79,834
	1,665,215
残高	-20,588
前期繰越	375,615
翌期繰越	355,027

☆尊い献金、会費の送金を、
心から感謝いたします。



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町 1-5-4-103
TEL 042-318-1807 メール対応 FAX 03-6862-8648
メール office@cheajapan.com